

平成22年度事業報告（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

はじめに

3月には、東日本を襲った大地震と巨大津波、更に想定外の福島第一原発炉心溶融事故の三重苦に見舞われました。今後も先が見えない状況においては、基本が大事ではないかと認識しています。

協会としては、従来から行っています、HACCP認定、ごはんランキング認定、ごはんソムリエ認定の3つの事業を柱とし、会員企業の衛生管理の向上を図り、「おいしさと安全・安心」をモットーに事業を引き続き進める所存ですので、関係各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。

平成22年度はこれらの事業計画に基づき、下記の通り事業が展開された。

役員会

*第1回役員会：平成22年4月21日（金）、霞が関 東海大学校友会館にて開催。

平成21年度の収支決算報告及び22年度の収支補正予算書の報告、役員報酬についてそれぞれ諮り承認された。

*第2回臨時役員会：平成22年5月28日（金）、コートヤード・マリオット銀座東武ホテルにて開催。未収金の償却について諮り承認された。

*第3回役員会：平成22年12月10日（金）、参議院議員会館にて開催。

平成23年度事業計画、平成23年度収支予算についてそれぞれ諮り承認された。

総会

*平成22年5月28日（金）、コートヤード・マリオット銀座東武ホテルにて、第16回通常総会を開催。

平成21年度収支決算、平成22年度収支補正予算、平成22年度事業計画、常勤理事の報酬について諮られ承認された。「食とエネルギーの自給率は、安全保障の鍵」と題して、評論家・ジャーナリストの木元教子氏の講演会を開催。15時より懇親会に移り、主務官庁である農林水産省総合食料局の方々、関係団体の来賓の方々のご出席のもと会員企業と親睦を深めた。

*平成23年1月21日（金）、コートヤード・マリオット銀座東武ホテルにて、臨時総会・新年賀詞交歓会を開催した。臨時総会にて、平成23年度事業計画案及び収支予算案、HACCP審査員他支給基準規程、災害時物資供給会員に対する協会補助金制度改訂についてそれぞれ諮られ承認された。15時よりの賀詞交歓会は、主務官庁である農林水産省総合食料局の方々、関係団体の来賓の方々に多数ご出席頂き、会員企業の方々と交流を深め盛会に終了した。

《各事業報告》

1. HACCP手法支援法の認定事業

平成22年度のHACCP認定企業は3社、平成23年3月末で計63社78ラインとなった。

2. 米飯加工品HACCP認定事業

18年度までの認定社6社の年1回の実施状況確認(監査)を行った。

3. 米飯品位格付認定事業<ごはんランキング>

認定テストは、年間3回実施し、延べ38社が参加した。

4. 食品衛生推進事業（幹旋物資）

“炊飯吸水紙”等、数量が伸びたものもあるが、全体的に7%減少となった。

5. 研修指導事業

・HACCP認定申請希望の企業8社に対して事前アドバイスをを行った。

また、平成11年～22年度に施設・手法認定取得した49企業に対する一般衛生管理も含め

HACCP 実施状況の確認（監査）を行なった。

- ・「米トレーサビリティ法」の成立等を受け、その対応含め解説を交え会員に対し情報提供を行うとともに、監査時の研修内容にも盛りこんだ。

6. ごはんソムリエ認定事業

「第5回ごはんソムリエ認定試験」は平成22年10月4日と5日に講習会及び食味試験を実施、農業者、米穀店、主婦等、さらに海外から参加の4名も含め、協会会員外の方々が約7割と、多彩な方々が“米やごはんの知識”を研鑽し88名が合格。認定者は392名となる。

平成22年3月29日には、第2回ごはんソムリエフォローアップ研修会を予定していたが、東日本大震災、及び計画停電による混乱が収まるまで延期することとした。

7. 広報事業

①第14回目の「ごはんサポートキャンペーン」は、昨年と同様公益性のあるイベントに対し実施したが、イベント103件、参加者約6万人、ごはん使用量6,802kgとなった。

炊飯協力会員社は14社。

②『ごはんタイムス』は、6月・10月・2月の3回発行し、会員外約340社の炊飯業者、及び180名のごはんソムリエ認定者へ贈呈配布した。今回から、希望された35の図書館へ配布を開始した。

③「米トレーサビリティ法案への炊飯事業者としての対応」について、わかり易い解説をつけて、“通知文書”として各会員へ知らせ、内容の理解とやるべきことの周知徹底を図った。また食品業界関連の記事の切り抜き等をまとめて、月1回会員へ発送した。

8. 緊急時救援物資供給補助金制度事業

公益団体として地域貢献を積極的に進めるため、平成19年度の新規事業として開始。

平成22年度は、東日本大災害の発生により、協会として、石巻市運動公園にご飯の炊出し支援を行うなど、おにぎり・いなり20万個、白飯12万食を提供しました。

このうち3社が、この補助制度を活用しました。制度の主旨の通り、災害直後の素早い救援活動に寄与することができました。

9. 新規会員の勧誘

平成22年度の入会は下記の通りである。

【入会】 <正会員> 小田急食品 株式会社 <平成22年7月>

有限会社 炊飯センター柳澤 <平成22年9月>

三星 株式会社（韓国） <平成22年9月>

.....正会員入会 3社

平成23年3月末現在 正会員66社 賛助会員20社

なお、丸仙製パン株式会社（三重県）が、平成23年4月に正会員となりました。

従って、平成23年4月1日現在 正会員67社、賛助会員20社です。

10. 専門委員会の活動

【HACCP 審査委員会】

認定審査に伴う委員会を、30回開催した。HACCP法のなかで、炊飯加工品が炊飯製品に盛り込まれたことに伴い、HACCP認定規程の見直しを行った。

【他団体等セミナー】

(財)食品産業センター連絡協議会月例会議等、他団体等主催による各種講演会にも積極的に受講参加した。

以上